

平成30年度 宿泊防災訓練

4月20日(金)～21日(土)にかけて1年次生を対象に宿泊防災訓練が行われました。



まず、体育館で開会式を行い、点呼、校長先生のお話、諸注意がありました。その後、消防署の方々にお越しいただき、全体を4グループに分割し、ローテーションしながら講話及び、防災体験を行いました。搬送や応急手当の体験など、災害から自らの命を守り、身近な人と助け合うための技術や力を学びました。



夕食は食物室で調理したアルファ米を、少し暗くなってきた中庭で食べました。



また、就寝する部屋になる普通教室は自分たちで掃除をし、配布された毛布を敷き、宿泊する準備をしました。生徒会のみなさんもお手伝いありがとうございました。



その後、HR 活動として、昨年度上水高校放送部が行った、オリジナル朗読劇、東日本大震災「思いを繋ぎ、未来へ結ぶ」の映像講演を学年全体で鑑賞し、東日本大震災の被災者の傷跡、その生々しい証言などに思いを巡らせました。



22:00に就寝し、翌朝6:00起床。部屋を片付け清掃し、朝食の乾パンを食べ、体育館で閉会式を行い、まとめ学習をして8:00に解散になりました。



首都直下型地震が予想される現在、高校生は災害時の大きな戦力と認識されます。今回の訓練で、生徒の防災への意識が高まることを期待します。